

魚類防疫支援事業

前田 穰、成田 留衣、牛崎 圭輔、松田 忍、沢目 司

目 的

健全で安全な養殖魚や種苗の生産を図るため、魚病の診断、防疫・養殖衛生管理・飼育に関する指導、専門的な知識を持つ技術者の育成を行う。

材料と方法

1. 魚病診断

内水面養殖業者や海産魚類増養殖場等から検査依頼があった検体について、定法により魚病診断を行った。

2. 防疫・養殖衛生管理・飼育に関する指導

県内の増養殖場を対象に行った。

3. 技術者の育成

公益社団法人日本水産資源保護協会が開催した、魚類防疫士の育成を目的とする研修を受講した。

結 果

1. 魚病診断

2019年の診断件数は、内水面が16件で2魚種から6種類の疾病、海面が3件で1魚種から1種類の疾病がそれぞれ確認された(表1-1、表2-1)。

2020年の診断件数は、内水面が10件で4魚種から4種類の疾病、海面が1件で1魚種から1種類の疾病がそれぞれ確認された(表1-2、表2-2)。

表 1-1. 魚種別疾病別診断件数(2019年)

(2019(H31)年1月～2019(R01)年12月)

疾 病 名	魚 種 名							合 計
	ニジマス	ヤマメ	サケ	アユ	コイ	ワカサギ	ヒラメ	
IHN	1							1
BKD		1						1
アクアレオウイルス							3	3
トリコジナ		1						1
IHN+トリコジナ	1							1
IHN+ギロダクチルス	1							1
冷水病+トリコジナ	1							1
不明	1	3	1	2	1	2		10
計	5	5	1	2	1	2	3	19

表 1-2. 魚種別疾病別診断件数(2020年)

(2020(R02)年1月～12月)

疾 病 名	魚 種 名						合 計
	ニジマス	イワナ	ヤマメ	ヒメマス	アユ	マツカワ	
せっそう病	1	1					2
カラムナリス症	1						1
ピブリオ病			1				1
白点病				1			1
イクチオボド						1	1
不明	4				1		5
計	6	1	1	1	1	1	11

表 2-1. 魚種別月別診断件数(2019年)

(2019(H31)年1月～2019(R01)年12月)

魚種名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ニジマス				3	1							1	5
ヤマメ				1	1	1		2					5
サケ		1											1
アユ								2					2
コイ						1							1
ワカサギ		1							1				2
ヒラメ							2	1					3
計	0	2	0	4	2	2	2	5	1	0	0	1	19

表 2-2. 魚種別月別診断件数(2020年)

(2020(R02)年1月～12月)

魚種名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ニジマス		1	1			1	1	1				1	6
イワナ								1					1
ヤマメ								1					1
ヒメマス											1		1
アユ												1	1
マツカワ								1					1
計	0	1	1	0	0	1	1	4	0	0	1	2	11

2. 防疫・養殖衛生管理・飼育に関する指導

県内 24 ヶ所の増養殖場で、防疫・養殖衛生管理・飼育に関する状況を確認し、必要な指導を行った。

3. 技術者の育成

内水面研究所職員 1 名が養殖衛生管理技術者養成研修(2020年：本科基礎コース)を受講した。

考 察

引き続き魚類防疫に関する情報提供及び魚病の発生防止、被害軽減に努める。